

令和2年度 指定管理者運営評価シート

所管課	子育て総合センター
-----	-----------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市立山口児童センター
所在地	西宮市山口町下山口4丁目1-8（山口センター内）
施設概要	平成21年4月1日開館 施設面積728.78㎡（集会室、図書室、工作室、遊戯室、事務室等） 山口支所、山口ホール、山口保健福祉センター、中央図書館山口分室、山口公民館等との複合施設である山口センター3階に開設
施設の設置目的	遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子供を心身ともに健やかに育成する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	社会福祉法人 西宮市社会福祉事業団	指定期間	開始日	平成 30 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市上甲子園5丁目7番21号		終了日	令和 2 年 3 月 31 日
選定方法	非公募		評価対象年	指定期間 2 年のうち 2 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>(1) 開館時間 月曜日～土曜日 ア 4月～9月 午前10時から午後6時まで イ 10月～3月 午前10時から午後5時まで</p> <p>(2) 休館日 ア 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日 イ 日曜日 ウ 1月2日、同月3日及び12月29日から同月31日まで</p> <p>(3) その他、市と指定管理者が締結する基本協定並びに西宮市立児童福祉施設条例（昭和43年西宮市条例第55号。以下「条例」という。）及び同条例施行規則（昭和44年西宮市規則第66号。以下「規則」という。）並びに西宮市立児童館管理運営要綱（以下「管理運営要綱」という。）並びに西宮市立塩瀬児童センター及び山口児童センター設置運営に関する事務取扱要綱（以下「設置運営事務取扱要綱」という。）等市の関係要綱・要領の規定に基づいて管理運営を行うこと。</p>					
②施設の事業・運営関係	<p>(1) 条例第10条の規定に基づく業務 (2) 設置運営事務取扱要綱第9条に基づく児童センター運営委員会に関する業務 (3) その他、モニタリングに係る利用者アンケート等に関する業務等児童センター設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p> <p>労働実態調査の結果： 当団体は社会福祉法人であり、営利団体でないため、調査は行っていない。</p> <p>調査結果後の指示事項：</p>					
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案：</p> <p>(1) 利用の状況 令和元年度の年間延べ利用者数は、児童24,251人、保護者6,192人の合計30,443人となった。地域の中での子どもの居場所、遊びの拠点となることを目指し、子どもの発達の増進を図る行事を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月27日より全ての行事を中止し、3月3日から3月31日までを臨時休館とした。</p> <p>(2) 子育て支援事業・各種行事の実施 子育て支援事業では、子どもとその保護者の身近な場所で親子共に楽しめる行事や情報提供、相互の交流や情報交換の場を提供してきた。指導員が中心になって行っている2歳児対象の「おやこであそぼ」1歳児対象の「おやこであそぼプレクラス」0歳児から対象の「なかよしばーく」など年齢に応じた多彩なプログラムを実施した。新たに、保健師・栄養士とゲームを楽しんだ後、気楽に子育てトークができる時間を設け、子育て中の母親の不安解消や安心感に繋がる支援ができるよう心掛けた。運動・音楽・ベビーマッサージなど特化した行事を開催し、目的に応じて保護者が選択しやすいよう配慮した。</p> <p>今年度は児童センターが10周年だったこともあり、「ヤマセン10周年記念パーティー」を開催した。子どもたちが主役となり、司会を務め、けん玉達人の技や、子どもたち自作の歌やダンスなどを披露した。また、季節毎にゲームパーティーを行い、各コーナーを子ども達と指導員で担当し、関わりを深めながら自主性を育み、主体性に繋げるよう努めた。全国カブラ大会にも出場し、ひとりで製作する子やグループで協力して製作するなどして全65作品を応募し、楽しみながらイマジネーションを膨らませ、集中力、創造性を養った。児童センターの一大イベントとなっている大迷路は「大迷路☆ヤマセンブラザーズ」と題し山口センター1階の山口ホールと共催で引き続き行い、3階と1階で様々な体験ができるよう工夫を凝らした。</p> <p>取組結果：小学生、中学生の児童とともに作り上げる取り組みを多く取り入れた。児童センターの10周年イベントでは子どもの意見交換の場を設け、それぞれが個性を認め合える場となった。子育て支援事業では、母親の意見を取り入れ、身体を使って楽しめる行事を多く取り入れたが、親子の参加人数は減少傾向であった。</p> <p>今後の改善点：家庭環境が様々で個性豊かな児童が多いため、意見交換の場を設け、お互いの個性を認め合う機会が必要である。今後も継続して機会を設けていく。 親子の利用人数が減少しているため、父親の利用も含め、家族で利用できる環境を設定していく。</p>					
施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(計画)
① 利用人数(保護者含む)	人	35,024	39,519	35,739	30,443	30,000
② クラブ活動・教室参加人数	人	1,668	1,993	2,032	1,435	1,500
③ 子育て支援事業の参加人数	人	5,462	6,048	6,152	4,551	5,000
④						
⑤						

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	対象者：小学生 実施期間：令和元年11月1日～11月30日 手法：その場で記載、回収
②利用者アンケート等の結果	アンケート内容 ・児童センターが毎月発行しているおたよりについて ・置いて欲しい玩具、本について ・来館の目的等 毎月発行しているおたよりを見ていると回答した児童は100名中64名、うち、自分で見ていると回答した児童は45名であった。また、児童センターに来館する目的では、迷路等大型行事の他に、身体を動かすことのできる遊びを目的に来館する児童の意見が多かった。
③結果からの改善点など	おたよりの内容がわかりやすいよう掲載方法の工夫する。 体育室では行事以外でも身体を使った遊びを充分に楽しめるよう、機会を設ける。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	当法人は社会福祉法人であり、営利団体でないため、実施していない。
②評価結果を受けての指示事項	

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位：千円)

区 分	H28年度(決算)	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(年度協定額)
指定管理料	20,740	21,262	22,058	22,335	21,714
うち光熱水費	0	0	0	0	0
うち修繕料	348	16	137	6	304
うち備品費	146	54	87	26	94
補足説明					

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位：千円)

区 分	H28年度(決算)	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(予算)
使用料	0	0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0
補足説明					

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	新型コロナウイルスの影響で3月3日から休館したことにより利用人数は減少しているものの、運営面は仕様書等に記載された内容について、適正に実施されている。 子育て支援行事にも積極的に取り組み、事業団に所属する看護師等の専門職員の活用など、団体の特徴を活かしている。全国カプラ大会の会場に応募し選出されるなど、利用者が楽しめるような行事・イベントの情報収集を積極的に行っている様子が伺える。また利用者アンケートを実施し、その意見を反映させるなど、評価できる運営内容である。
②指摘事項	特になし。